

## 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコットについて

アスリートたちの心に宿る熱い想いが「炎」となり愛知・名古屋の守り神であるシャチホコとひとつになって誕生しました。

愛知・名古屋は、歴史的にも文武芸に秀でた傾奇者（“かぶき” もの）を生み出してきた地です。ここから着想を得て、目の周りには歌舞伎（“かぶき”）のような赤い隈取りがあしらわれています。

「ホノホン」という名前は、炎の語源とされる「火の穂（ほのほ）」、これは火が高く立ち上がってメラメラと燃える様子が穂（稲穂の“穂”）のようだからというところから来ていますが、そこから親しみやすさも込めて「ホノホン」と名付けました。



ホノホン HONOHON

名 前：ホノホン / HONOHON

年 齢：生まれたばかり

性 別：なし

生まれた場所：アスリートたちの心の中

チャームポイント

大きな目：アジア中のアスリートたちの活躍をいつでも見守ることができる

シャチホコ：アジア中の子どもたちの笑い声やアスリートへの声援を聴き取ることができる

特技：言葉は話せないが、自分がイメージできた「音」をまるで魔法のように鳴らせる

弱点：頑張りすぎるとすぐに眠くなる

性格：いろんなことに興味津々で、何にでも一生懸命

好きなこと：スポーツをすること

好きな色：赤色

好きな言葉：IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。

目標：大会本番までにアジア競技大会の全種目を覚えること

使命：愛知・名古屋 2026 大会を通じて、人々が“ここで、ひとつに。”なる

## アジア競技大会マスコットデビューイベントについて

- 1 日 時 2024 年 7 月 14 日（日） 11 時 00 分～11 時 30 分
- 2 場 所 K I T T E 名古屋 1 F アトリウム  
（名古屋市中村区名駅 1－1－1）
- 3 登壇者 組織委員会会長 大村 秀章（愛知県知事）  
組織委員会会長代行 河村 たかし（名古屋市長）  
マスコット選定委員 栗原 三佳さん（元日本代表女子バスケットボール選手）  
児童 5 名（エスコートキッズとして一般公募）
- 4 ゲスト お笑いトリオ「パンサー」 向井 慧さん（吉本興業）
- 5 デビューイベントの様子

